

## 広域的な住民活動や経済活動を支援する

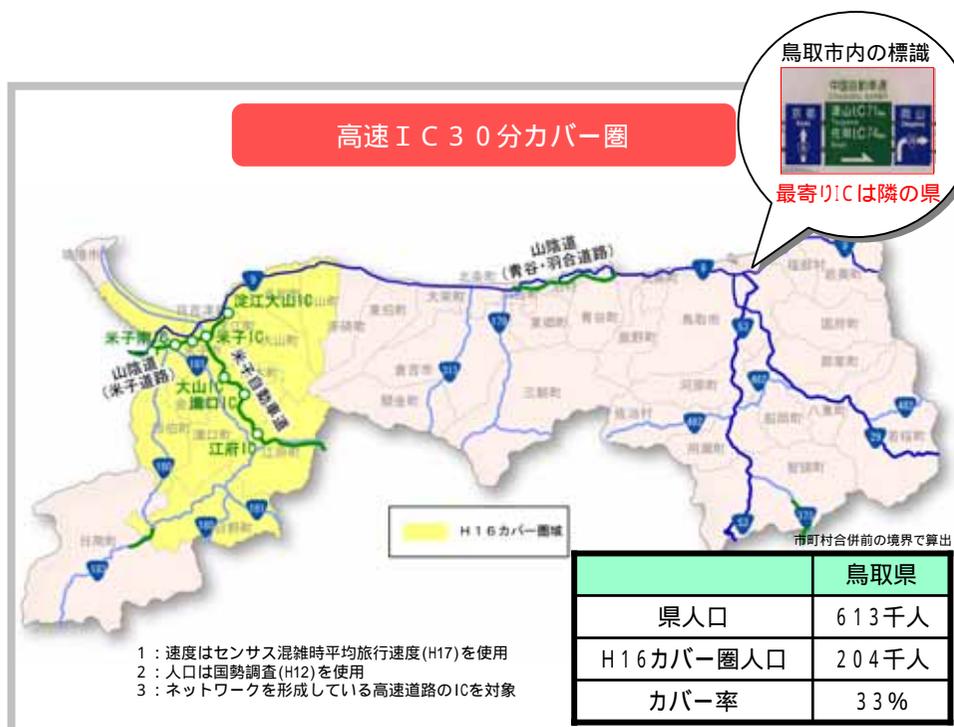
### → 高速IC30分カバー率

#### 1 鳥取県の現状

鳥取県内の高速道路は米子自動車道のみであり、県東部側には整備されていません。（鳥取市の最寄りの高速道路ICは、岡山県内の「津山IC」、兵庫県内の「佐用IC」）

そのため、鳥取県の高速IC30分カバー率は33%（平成16年度値）であり、十分とは言えない状況です。

特に県の中部及び東部地域は、カバー圏の空白地帯になっています。



#### 2 昨年度の成果（達成度報告）

平成17年度は、名和・淀江道路、東伯・中山道路、中国横断自動車道姫路鳥取線、駟馳山バイパスなどの事業について整備を推進しました。このうち、青谷・羽合道路アクセス部、生山道路が供用しましたが、鳥取県内の高速道路のネットワークに接続しないため、高速IC30分カバー率の値は変わりませんでした。

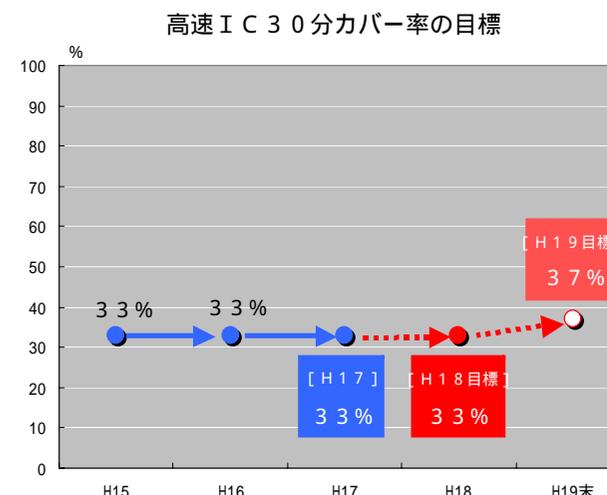
ただし、高速道路ICまでのアクセス時間が短縮されました。

「TOPICS 生山道路」P.12参照

#### 3 本年度のとりくみ（業績計画）

平成18年度も高速IC30分カバー率の向上が期待できる事業箇所の早期供用を目指して整備を推進します。

各事業の進捗状況はP.6～7参照



## TOPICS ～ 江府三次道路 生山道路の開通～

・一般国道183号生山道路は、地域高規格道路「江府三次道路」の一部区間を形成し、日野町福長と日南町霞を結ぶ延長約4.1kmの自動車専用道路です。鳥取県西部地域における地域高規格道路としては初めて供用しました。

【供用前の国道183号】



国道183号は、日南町生山の住宅密集地を通るため走行条件が悪い。

生山道路が平成17年7月に開通



### 生山道路の時間短縮効果



高速道路IC30分カバー率には変化はないですが、地域の皆様の暮らしは着実に便利になっています。

日南町霞～江府ICまで  
整備前 約38分 整備後 約32分  
(約6分短縮)

1：速度はセンサ混雑時平均旅行速度(H17)を使用  
2：生山道路は60km/hを使用

## 4 平成19年度目標達成に向けた展望

高速IC30分カバー率の平成19年度目標値は37%であり、山陰道(名和・淀江道路)の整備により、平成18年度から4%の増加を目指します。



### 整 備 例

#### ～ 山陰道(名和・淀江道路)～

・名和・淀江道路は、山陰の地方都市間の連携を強化するとともに、環日本海交流の基幹軸の一翼を担う道路であり、かつ国道9号の混雑緩和や災害時の緊急輸送路の代替路線などの機能が期待されています。

#### H17の事業内容 事業の進捗率

平成17年度は阿弥陀川橋、蛇の川橋等の工事を促進 **80%**

#### H18の事業内容 事業の進捗目標

平成18年度は東谷川橋、名和川橋の工事を促進 **89%**

事業の進捗目標は名和IC(仮称)～淀江大山IC間のもの

(工事の状況)

